



「南あわじハモ」PRイベントを開催



▲ハモの骨きを披露する板前さん

初ハモの味に舌鼓
これから旬を迎えるハモ。5月11日、「南あわじハモ」のブランド化を目指す初企画として、南あわじ市観光協会が福良漁港で初せりイベントを開催しました。
南あわじ産のハモは、京阪神では料亭などで最高級品として扱われるなど好評。身はほんのり甘く、これからのシーズンは脂がのって、さらに旨みが増します。

イベントでは、初せりが行われた後、料理人による骨切りショーが公開され、初ハモを使った「ハモすき」が先着200人に振舞われました。
この料理はもともと漁師の家庭料理。こんぶとハモのあらでダシをとり、玉葱を入れてさつと煮込みます。淡路手延べ素麺を入れると、さらにおいしく食べられます。
試食した参加者は、「ハモがプリプリして美味しい」と笑顔で話していました。



▲沼島沖海上で、鱧を放流する関係者

「南あわじ市花マップ」で花づくり活動をPR

道路の路肩や公共施設、公園などの街のあちこちに植えられている四季折々の草花。南あわじ市花づくり協会（安田安義会長）では、120の市民グループがこれらの花の管理を行っています。
同協会は、4月26日の総会に合わせて、会員らが手入れしている花壇を示した「南あわじ市花マップ」を作製。この花マップは、関係施設や学

南あわじ市花づくり協会が製作

校などに配布される予定です。安田会長は、「花を植えれば、街が美しくなる。花をみれば、人の心が美しくなる。この冊子を通じて私たちの活動に興味を持ってもらえれば」として、マップをPRしていました。



▲花づくり協会が発行した「南あわじ市花マップ」

同協会は今年度から広報活動に力を入れており、今後インターネットを使った情報提供なども計画しています。

豊漁と商い繁盛を願って

沼島で「鱧供養祭」

5月15日、沼島でハモの御霊を供養して豊漁と商いの繁盛を祈念する「鱧供養祭」が行われました。

この催しは、灘と沼島の飲食店経営者らで組織する「灘・沼島観光ふるさと会」の主催で今回17回目。沼島の西光寺で法要が行われた後、沼島の南東海上、上立神岩の前で、全長約1mのハモ7匹を海に放ちました。この後、マスコミ関係者にハモすき鍋を披露し、ハモの魅力をPRしました。



▲杉本さん

春の叙勲 杉本美智夫さん

おめでとう

春の叙勲で永年、消防活動に尽くし、地域住民の安全を守られた杉本美智夫さん（榎列）に瑞宝単光章が贈られました。

杉本さんは26歳で地元消防団に入団。平成4年からは旧三原町で消防団長を4年間務められ、豊富な知識と経験、指導力で消防団の育成強化や住民への防火意識の普及活動に努められました。

旧三原郡消防協会会長も兼務されていた平成7年の阪神・淡路大震災では、島内の救援活動の支援を行うなど、常に災害発生に際しては、率先垂範して防災活動

故郷でゴールデンウィーク

沼島の春祭り



▲水しぶきをあげて勢よく海に入るだんじり

ゴールデンウィーク中の5月3日と4日、沼島で春祭りが行われました。

故郷を離れていた若者も、この日はばかりはと帰省し、勇猛なこの祭りに参加。家族や懐かしい仲間らとだんじりを曳き、元気をもらっているようでした。



▲夕方には、だんじりに提灯を付け、街中を回ります（5月3日）

作家と鑑賞、ギャラリートーク

南画家の村岸良華さんが玉青館を訪れる

南あわじ市滝川記念美術館「玉青館」では、4月12日、6月22日の期間、「良華ムラギシの世界―村岸良華展―」を開催しています。

訪れ、一般入館者約100人とともに、作品一つひとつの思い出を話しながら、作品を鑑賞しました。

展示されている水墨・墨彩画作品22点はどれも、温かさと情趣が伝わる独自の世界観があり、村岸さんは、やさしい語り口で、作画した場所や見どころなどを参加者に語りかけていました。

ゴールデンウィーク中の5月4日、村岸さんが玉青館を



▲作品一つひとつを紹介する村岸さん（中央）

花を通じて交流

あわじオープンガーデン

花と緑を愛する人々が集い、花を通じて交流を深めてもらおうと、「第7回あわじオープンガーデン」が4～6月に島内約60か所で開催されています。

市内の斉藤さん宅では、来場者がガーデナーに花の名前や見どころを尋ねながらゆっくり観賞。いくつものガーデンを回る来場者は、「行く場所ごとにガーデナー持ち前のこだわりがある。今年も楽しませてもらいました」と話していました。



▲ガーデナーの庭を見学する来場者（吉井さん宅）

人権擁護委員に表彰

長年にわたり、人権擁護委員を務められた次の方々、5月3日、表彰が贈られました。

◆久次米康次さん（広田）に法務省人権擁護局長感謝状

◆飯田弘子さん（松帆）に全国人権擁護委員連合会長表彰

久次米さんは、平成10年6月から、飯田さんは、平成11年10月から、人権擁護委員を務められ、地域の中で人権保護と人権思想の啓発等を推進しています。

また、杉本さんは、青年団活動にもリーダーシップを発揮され、昭和49年には、日本青年団協議会会長も務められました。

受章に際し、杉本さんは「一緒に頑張ってきた仲間や先輩方、家族の支えがあったおかげです」と話していました。

の指揮にあたり、被害を最小限度に食い止め、生命と財産を守る消防活動、地域の安全に大きく貢献されました。